



学びあい、わかりあう

みんぐる

# mingle

2025.11  
Vol.82



たぶんかギャラリー  
<イラン・シリア>の風景  
たぶんかフリースクール荒川校  
バルンさん・アハラムさん



シリア：ダマスカス旧市街

- Top News …1  
わたしのくに紹介 …1  
多言語高校進学ガイダンス… 2  
たぶんかフリースクールの毎日…3・4  
活動報告（フリースクール）… 5  
活動報告（ハートフル・放課後教室）…6  
活動報告（土曜日学習支援教室）…7  
先生・インターの声… 7・8  
卒業生にインタビュー…9  
多文化 Voice… 10  
イチオシ…10



イラン：イマーム・モスク



最近、高等学校授業料無償化の施策や政治情勢などについてのメディアの取材をいくつかお受けしています。私たちの地道な活動が、子どもたちの成長に役立っていることが知られていることから、ヒアリング先に選ばれていると思います。

こうした中、FM の J-WAVE の番組（ジョン カビラさんが MC）が当団体を取り上げてくれました。（11月7日（金）10：20 から 5 分間の放送の番組 “DENWA RELAY SERVICE EYES ON THE FUTURE”）

番組の中で、視聴者の皆さんにご理解いただくよう、次の主旨のお話をしました。

外国の中学校を卒業した来日間もない日本語ゼロの生徒が、フリースクールで火曜日から金曜日まで週4日毎日5時間、日本語と英語、数学を学んでいます。

目的の1つは入学試験をクリアして高校に入学すること、もう1つは、高校に入学してからの学ぶ力を持つて、どんどん成長することです。日本で活躍する力を持つことは、本人のためにも社会のためにも大事です。

社会が子どもたちに学びの機会を準備し成長を支えることが、本人のためにも日本のためにも、外国の方に日本を選んでもらうためにも大事です。

色々なバックグラウンドの人がいてこそイノベーションが生まれ、社会が成長します。様々な方々が一緒に仕事し生活することが当たり前、多文化共生が当たり前、そして、それが社会の活力だと思える国になりたいと思います。

## わたしの くに 紹介 ~イラン&シリア~

今号の「わたしのくに紹介」は、たぶんかフリースクール荒川校在籍の二人、バランさんの出身地イラン・イスラム共和国とアハラムさんの出身地シリア・アラブ共和国です。

**イラン・イスラム共和国：**紀元前3000年ころ建国され、現在の人口は約9,000万人です。多くの民族と言語が存在する多文化な国です。公用語は、ペルシャ語で文化的遺産が多くあります。

**シリア・アラブ共和国：**古くから交通や文化の要衝として栄えてきました。現在の人口は約2,400万人です。公用語はアラビア語で、首都ダマスカスをはじめ、多くの文化遺産があります。

二人が描いてくれた表紙の絵についての説明を紹介します。



左側の絵には、イランの美しい文化が表れています。ミナレット（塔）は、イランの古い街に見られるイスラム建築を象徴しています。背景の山々は、多様で豊かなイランの自然を思い起させます。模様入りの絨毯は、手作業で丁寧に織られる有名なイラン絨毯の芸術性を示しています。そしてお茶のカップは、イランのもてなしの習慣と温かいお茶を囲んで語り合う人々の文化を表しています。

(バランさん)



右側の絵には、シリアの美しさと伝統文化を表す象徴が描かれています。オリーブの枝は、平和と豊かな大地を意味しています。コーヒーポットとカップは、どの家にも欠かせないシリアのもてなしと寛大さの象徴です。幾何学模様の装飾は、古い家やモスクに見られるダマスカスの伝統的な芸術を表しています。

(アハラムさん)

# TOPIC

## 日本語を母語としない親子のための 高校進学ガイダンス

11月3日(月)に新宿コズミックセンターで「日本語を母語としない親子のための多言語高校進学ガイダンス」を行いました。当日は53家族98人の相談者が来場し、見学者や運営スタッフを合わせると160人が集まりました。相談者にルーツのある国・地域は10ヶ所におよび、中国語、英語、タガログ語、ネパール語の4言語の通訳者に協力をお願いしました。

相談家族数	53家族 (生徒45人、保護者等53人)
ルーツのある国・地域	カナダ、コンゴ民主共和国、 ニュージーランド、ネパール、 パキスタン、バングラデシュ、 フィリピン、ロシア、中国、韓国



会場では、高校の種類や入試スケジュール、出願までに準備するもの等についての全体説明を行った後、通訳者を交えて高校教員や支援団体に相談できる個別ブースに案内しました。

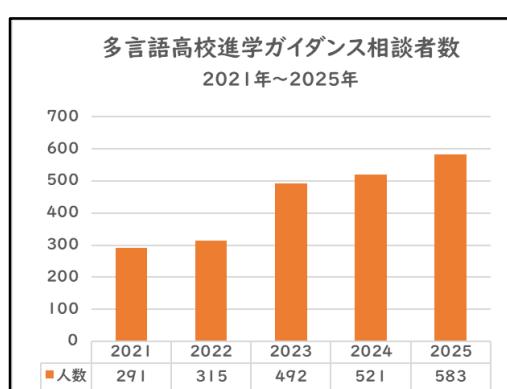
今回は、中学3年生よりも2年生の来場者が多く、次年度の受験に備えて早めに準備を始めたい学生・保護者の姿が印象的でした。

他方で、終了後のアンケートからは、「希望する高校に入りたいが、日本語はどこで勉強できるのか」「日本語の勉強もままならないのに、高校受験をどうしたらいいのか」といった、普段の日本語学習に悩む来場者の心情も、課題として見えました。

### 2025年度多言語高校進学ガイダンス（6地域）相談者数

多言語高校進学ガイダンスは今年度都内6か所で開催されました。相談者数は増え続けており、高校進学や日本語支援に関する情報提供の重要性が一層高まっています。

ガイダンス名	日にち	参加者数(人)		国・地域	備考
		親子数	総数(スタッフ等含む)		
文京ガイダンス	6月29日	212	286	15	
武蔵野ガイダンス	7月13日	85	85	11	予約制
南部大田ガイダンス	7月20日	56	86	7	予約制
八王子ガイダンス	9月21日	61	124	9	予約制
南部品川ガイダンス	10月5日	71	71	6	予約制
新宿ガイダンス	11月3日	98	150	18	
総計		583	802		



◎高校入試に関する情報は、当センターや進学ガイダンスのホームページで見ることができますので、ご活用ください。「日本語を母語としない親子のための多言語高校進学ガイド」も日本語・英語・中国語・ネパール語で読めます。

<http://www.tokyoguidance.com/>



# 伝統文化体験「江戸手描提灯づくり」

## UBS グループ社員のみなさんとの交流イベント



9月20日（土）、ご支援をいただいているUBS グループの社員ボランティアさんとの伝統文化体験の行事を行い、生徒・社員・スタッフあわせて62名が参加しました。まずは荒川区の伝統工芸士沼橋大嶋屋さんのご指導により、「江戸手描提灯づくり」をしました。大嶋屋さんの手によってひとつひとつ書かれた江戸文字を細い筆で縁取りし、好きな色を塗っていきました。漢字は事前学習で自分が選んだものです。



続いて「屋外活動」では、尾久八幡神社、尾久図書館、防災時の避難場所でもある宮前公園を散策しました。神社では七五三の意味を考えたり、おみくじを引いたり、また公園では防災井戸で水を出したりしました。遊んでいる子どもたちに混じって長い滑り台を楽しんだ生徒もいました。



最後に「フリースクールの紹介」では、スライドを使ってフリースクールやクラスの紹介の後、出身国やありがとうの言葉クイズをしました。生徒二人による軽快な司会進行で、日頃別々の場所で学習している荒川校・杉並校の生徒どうしもつながることができました。

生徒たちは行事を通して日本の文化の一部を知るとともに、UBS のボランティアさんと日本語で楽しく交流をしました。

### 生徒の声

#### 手描提灯の江戸文字とは

江戸時代に作られた独特の図案文字で、歌舞伎や相撲、寄席などに使われています。

#### =生徒の作品=



ボランティアの皆様、ありがとうございました。  
提灯を作るイベントは楽しくて、面白かったです。ボランティアの皆様のおかげで、この面白い活動ができるようにさせてもらえて、ありがとうございました。  
毎晩そのイベントで作ってきた提灯をつけて寝ているので、生活に役立つと思います。  
非常感謝!本当にありがとうございます。

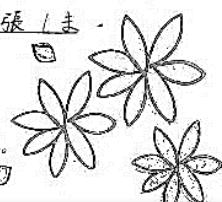
多文化フリースクール(杉並校)

2025年9月24日

9月20日でUBS イベントがありました。みんなで集まって、うしろに都電でくまのまえに行きました。私たち荒川校と杉並校の人と、UBS の人がいました。みんなでいろいろなことをしました。たとえば町を歩きました。

でも、この中で一番深い印象はちょうちんを作ることです。イベントの前で、もう自分が作者字をえらびました。先生はもう私たちの字をちょうちんの上に書きました。私たちはもう一回黒い、ペンで描きました。そして、自分が好きな色をえらんで、ちょうちんの上にぬりました。私は「炮」の字を並びました。この字は私が好きなグループの一つ名前です。色は黄色になりました。この前、ちょうちんを作ったことがあります。私が、私はとてもこうみました。  
ちょうちんが終わったら、みんなで私の学校の発表をほめた、ちょっと緊張しました。みんなUBSの人と話しました。

最後にUBSの人におかれました。  
ありがとうございました。  
と感謝しました。



# 秋の交流会「ラウンドワンスタジアム」

セールスフォース・ジャパン社員のみなさんとスポーツイベント

10月9日(木)ご支援をいただいている株式会社セールスフォース・ジャパンの社員ボランティアさんと一緒にラウンドワンスタジアム板橋店にて秋の交流会が行われ、生徒・社員・スタッフあわせて72名が参加しました。社員と生徒が4~5名のグループに分かれ、スポーツを通して交流を楽しみました。



前半のボーリングは、ほとんどの生徒が初めての体験でした。ボール選びや持ち方、投げ方などを社員の皆さんのがやさしい日本語で教えてくださいました。最初は両手で投げたりスピードが足りなくてガーターばかりだったりした生徒たちは、徐々にコツをつかんでいきました。日本語でのコミュニケーションが苦手な生徒も、ストライクを出してチームメイトと笑顔でハイタッチを交わしていました。運動センスに関係なく楽しむことができたので、「家族でボーリングに来たいです」という声もありました。

後半は、いろいろなスポーツやゲームを選んで楽しむスポットチャに参加しました。屋内ではローラースケート、ビリヤード、ロデオなどに、また屋上では巨大なボールでのバレーボールやテニス、大きな浮き輪の中に入ってプレイするバブルサッカーなどにチャレンジしました。スポーツが得意な生徒が思い通りにボールを扱えず苦笑いする様子や運動が苦手な生徒が思い切り体を動かしている姿が見られ、思い出に残る一日になりました。



セールスフォースのみなさんへ:

昨日ありがとうございました。

私はあなたと一緒にボーリングをしました。

それはおもしろかったです。

もとボーリングを勉強したいです。

私は昨日本当に楽しかったです。

私は初めてボーリングをました。

それはちょっと難しかったです。

たくさんチャレンジがありました。

ボーリングボールは重かったです。

次は社員さんとも日本語で話したいです。

2025年10月10日(金)

## 生徒の声

セールス フォース ジャパンのみなさん

ありがとうございました!!

日本に来て、こんな所で遊ぶことは初めてですが、とても楽しかったです。同じ組みのボランティアのお姉さんは私と同じ中国人です。運がいい一発にボウリングをして、色々なゲームをやりました。牛の座るは面白い出会いではよかったです!嬉しい時間が続いたましたが、私は疲れてしましました!お姉さん、そして他のボランティア達へ、もう一度

ありがとうございました!

謝謝

たぶんかプリースクール 楠並校



## たぶんかフリースクール荒川校

みんな静かで笑いもせずに授業を受けている。休み時間も他の生徒と話すこともなくスマホをいじっている。授業中は？本を声に出して読んだり、リピートしたりとかしないの？いや、するよ、声は小さいけど。宿題は？ちゃんとやってくるよ。やりなさいということは真面目にやるし、大体ちゃんと覚えようとする。じゃあ、問題ないのでは？ん～～～～ん・・・ 静か・・・だから授業を明るく楽しくしようと私が一人でテンション上げるのよね。でもクラスのテンション上がらない・・・。メチャクチャ疲れるの・・・。

今年度の日本語3のクラスは今までと大分違いました。普通は一人位はっちゃけてる生徒がいて釣ら

れていると思っていたが、次の学期になっても同じ。現在は英語数学のクラス分けもあり、昼休みも他のクラスの生徒が混じっていますが、彼ら自身は変わったように見えません。彼らはつまらなそう？？？いえいえ、そんなことはありません。たまたまそういう個性の生徒たちが集まったんですね。半世紀以上教師をやりながら、まだ見慣れないシチュエーションに出逢う！！ここってホントに「みんな違ってみんない！」の見本市みたい♡素晴らしいな～～～！ってつくづく思

います。

【講師 渡邊萬里子】



## たぶんかフリースクール杉並校

杉並校の日本語1クラスは4月9日に始まりました。インドネシア人1人、中国人4人のクラスでした。生徒は全員、日本語既修者でしたが、一人一人の習得状況が違っていたので、文法の復習、特に普通体と丁寧体、可能形の復習と練習から授業を始めました。7月に入って、一人の生徒が都立高校の9月生入学試験に合格し、このクラスを卒業しました（おめでとう！！）。その後、新しい生徒が2名加わって、今のルーツは中国5名、インドネシア、コンゴ民主共和国各1名、計7名のクラスです。

日本語1クラスは、授業中は静かで、休み時間は元気というクラスです。もう少し、授業中、日本語を話してほしいのですが、数人の生徒は蚊の鳴くような声でぼそぼそと話すだけです。ある日、学校に来ない時間、どれぐらい日本語を使っているのかを生徒たちに聞いてみました。家族とはほぼ母語で休日もあ

まり出かけることはなく、一日中ゲームという生徒もいて、授業以外ではほとんど日本語を使っていないことがわかりました。ですから日本語1クラスでは、授業中、音読練習を増やして、意味が分かる文を大きな声を出して発話する時間を増やしています。最近は、ほんの少しですが、大きな声で話す生徒が出てきたように思います。

フリースクールの日本語学習環境として生徒たちが学校以外の場でも積極的に日本語が使えるような場を作り出すことが必要だと思います。そのためにどんな工夫ができるか考えていきたいと思います。

【講師 木谷直之】



# 活動報告 荒川区立小・中学校：ハートフル日本語適応指導事業

ハートフルは、荒川区の小中学校在籍中の児童生徒を対象とした日本語支援事業です。私はこれまで中学生の午前中の取り出し授業（通室）で日本語の初期指導をしていましたが、今年度から、主に通室を終了した生徒が参加する夜の日本語指導（補充）を担当することになりました。

補充は、期間（3か月）も、学習の場所も通室と同じです。しかし通室が3時間×週4日なのに対して、補充は、2時間×週3日です。午後5時半から7時半までなので、集中力は落ちるようです。中には部活や塾などの都合で遅刻早退する生徒もいます。通室と異なるのは、学校の管理下にある午前と違い、自宅から直接私服で通うことです。欠席の連絡は保護者の役割となっていますが、日本語での意思疎通が困難だったり、仕事中で子供と別の場所に居たりとかで難しいものがあります。



しかし、気軽な感じの補充は結構楽しそうです。親しくなった他校の友達に会える良い機会なのでしょう。時には学務課の決定を待たずにやって来てしまう生徒もいます。また、日本語で電話連絡してくるなど日々たくましくなってきてている様子もうかがえます。無断欠席はほとんどなく、皆勤も珍しくありません。

ハートフルでの経験が、これからの中学校生活を送るための動力源になってくれればと思っています。

【講師 雨宮洋子】

## たぶんか 放課後教室



放課後教室の活動時間は毎週金曜日の午後5時半から7時までです。9月以降、学習者の数は増え続けており、毎週金曜日は笑い声に満ち、にぎやかになっています。

ここでは、学習者自身がテキストや問題集などを持参し、大学生ボランティアと一緒に勉強しています。日本に来たばかりで、日本語を学ぶ必要がある学習者もいれば、英検と面接の対策、高校入試対策の問題集に取り組みたい学習者など、勉強内容は多様で、ニーズも異なります。



放課後教室は今年から、広く大学生および大学院生ボランティアを募集しています。ボランティアの中には、私のような外国にルーツを持ち、日本に来てから高校を経て進学した大学生もいます。そのため、自身の経験を十分に活かし、学習者に日本での高校や大学の進学方法を教えるだけでなく、彼らの学業や人間関係の悩みに耳を傾けることもできます。放課後教室で勉強している中3生および既卒生に対して、私が作った高校訪問日程表や高校入試関連情報などを配布し、彼らをサポートしています。その結果、来年の在京入試に向けて、10月から面接の練習を始めた学習者もいます。



しかし、学習者数は増え続けている一方、参加ボランティア数には波がある状況です。それでも、ボランティアと学習者が共に成長し合えるこの場所の価値を、今後も大切に守っていきたいと考えています。

【インターン 林 犢】

# ボランティアの活動報告

## 土曜日学習支援教室

今回は、11月8日に実施した防災教室の報告を掲載いたします。



空気が乾燥する季節になりました。多くの人が暖房器具を使い、静電気もよく発生して、冬から初春にかけて火災の発生件数はピークに達します。

恐ろしい火事に巻き込まれた場合、日本ではどうすれば身の安全を守れるのか？ この大切な知識を、海外出身の子どもや保護者の皆さんに共有しようと、11月8日の土曜日教室で、荒川消防署の4名の職員をお迎えして「防災教室」を開催しました。

119番への通報から、場所や状況の説明のしかた、避難時の注意点など、命を守るために必須の教えに、皆、真剣な表情で耳を傾けていました。職員さんの説明は丁寧でわかりやすく、たとえば「消火器を使うときは『ピン・ポン・パン』で火を消してください」という具合。これは、①消火器の“ピン”を引き抜き、②ホースの先を“ポン”と火に向け、③黒いレバーを“パン”と強く握って薬剤を発射する——という手順を覚えやすくしたフレーズです。続けて、子どもたちが順番に訓練用消火器を持ち、的に向けて空気を発射する練習をしました。

嬉しかったのが、質疑応答タイムに次々と質問が出たこと。「火事から逃げるとき煙に巻き込まれたらどうすればいい？」「火事の家に携帯を忘れたたら取りに帰っていい？」（答えはそれぞれ「姿勢を低くして地面に近い新鮮な空気を吸いながら逃げてください」「燃えている家には絶対に戻らないでください」）など、子どもたちが大いに関心を持っていることがわかりました。「火事で家が燃えたらどこに住めばいいですか？」と“変化球”的質問も出ましたが、「それには行政がしっかりと対応します」との回答に質問者も納得。最後には、消防車や救急車の消しゴムもプレゼントしていただきました。

消防職員の皆様と、中国語の通訳をしてくださった戴思憶さんに心よりお礼申し上げます。この意義深い防災学習、今後も年に一度くらい開催したいと思います。

【ボランティア 広部潤】

## INTERN の声

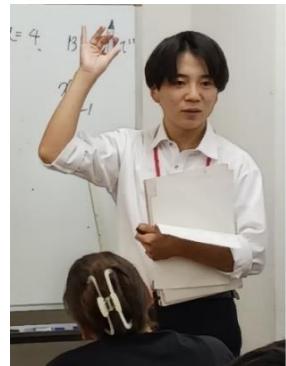


楊晨曦さん (たぶんかフリースクール杉並校 インターン)

5年前にたぶんかフリースクールを卒業し、今は大学で勉強しています。ここで学んだおかげで、無事に高校へ進学することができ、現在も自分の好きな専攻で大学生活を順調に送ることができます。英語力も向上し、中国語、日本語、英語の三言語を使えるようになりました。今度はインターンとしてフリースクールに戻って、学生たちをサポートできることが嬉しいです。不安になりながら日本語を勉強する生徒たちを見ると、当時の自分を思い出し、感慨深いです。日々の指導や言語のサポートを通して、少しでも生徒たちの助けになれば、この経験は自身の成長にも繋がり、生徒たちと一緒により良い人になれるのを楽しみにしています。

## 中尾友哉先生（荒川校 数学）

9月から数学2を担当させていただいております。現在は大学の教育学部に在籍していて、教員になることを志しています。音楽を聞くことが好きで、特に邦樂について詳しいのでぜひお話をできたら嬉しいなと思います。数学という一つの教科を通して皆さんとつながることができて、日々学びと楽しさの連続です。共に学び、共に成長していきましょう！よろしくお願ひします。



## 渡邊勝弘先生（荒川校 英語・数学）

9月から荒川校で数学と英語のサポートをしております。団体のビジョン、ミッションに共感し、これまでの社会人生を振り返り少しでもご協力できればと思っています。外国にルーツを持つ子供たちにとって日本語を習得することは大変ですが、数学の答えは世界共通で母国語、日本語、英語ができればそれらが武器になり、将来のビジネスチャンスにも繋がりますので、今はとにかく頑張ってほしいと思います。私は教育のプロではありませんが、生徒たちと共に学んでいけたら幸いです。

## 佐野綾先生（荒川校 英語・数学）

9月から英語と数学の授業サポートをしています。土曜日のボランティア教室、金曜日の放課後教室を経てフリースクールで教えることになりました。普段は大学院で教育社会学を専攻し、移民の子どもの教育体験を研究しています。フリースクールの授業では、いつも生徒の前向きなエネルギーに元気をもらっています。来日して間もない高校受験はとても大きな試練だと思いますが、少しづつでも生徒に自信がつくように、精一杯頑張ります。



## 平瀬祐介先生（杉並校 英語・数学）

7月から杉並校で英語（時に数学）を担当しています。昨年、国際交流基金の日本語パートナーズとしてタイの中高一貫校で10か月間、日本語教師のアシスタントをしました。子どもたちと過ごした時間が本当に楽しく、日本でも同じようなことができないかと考え、講師に採用頂き、土曜日のボランティアにも参加しています。皆さんのが希望の進路に進めるよう、少しでもお手伝いできれば幸いです。

## 謝路高先生（杉並校 数学）

10月から杉並校数学3クラス担当の謝です。祖父が中国出身で父の代で帰化し、自身は東京育ちで日本語が母語です。前職はSEで退職後、3年ほど父の自宅介護をしていました。縁あってお世話になっています。小・中学の学習指導要領を先日参照しました。小学校でも平均値・最頻値・中央値といったデータを意識した内容が含まれ、時代の変化を感じます。生徒たちに今の時代に合わせた授業ができるべきだと思っています。



# 卒業生にインタビュー

フリースクール荒川校の卒業生で、現在造園会社「八廣園」で施工管理を担当している陳躍龍（チン ヤクリュウ）さんにお話を伺いました。



—来日したのはいつですか？

2016年に中国の福建省から来ました。区役所から紹介されてたぶんかフリースクールに入学しました。

—フリースクールでの勉強はどうでしたか？

日本語を中国で勉強していたこともあり、それほど大変ではなかったです。

数学の授業が楽しかったです。廊下で卓球したのがいい思い出です。

—たぶんかを卒業した後はどうしましたか？

英語と数学の力を活かして、埼玉県立蕨高校に進学しました。

—高校生活はどうでしたか？

日本語のマンツーマンの取り出し授業があり、勉強は問題なく取組めました。長距離走などがあり、体育の授業が充実していて楽しかったです。書道部と英語部で活動しました。

—高校卒業後は大学へ進学したのですね？

宇都宮大学農学部で農業経済学を専攻し、地域活性化の勉強をしました。大学1年時の時はコロナ禍で他の学生と出会う機会も少なかったですが、大学3年になり、「里山キャンパス益子家」の活動を始めました。耕作放棄地を借りて自然農法で米を作ったり、古民家を自らの手で再生したりして人と資源の循環が生まれる小さな拠点を作り、食と農から始まる相互扶助コミュニティの形成を目指しています。自然との触れ合いや大工仕事が好きなので、週に4回通う程のめり込みました。卒業後の今も関わっています。

—八廣園ではどんな仕事をしていますか？

一緒に働く社員に惹かれて、公園の整備や河川の改修工事などを行う造園会社「八廣園」（本社：埼玉県川口市）に就職しました。埼玉県南部の菖蒲川の護岸工事を最初に担当し、現在は東京の「飯田橋こどもの広場」の改修工事の施工管理を担当しています。JR等の企業や行政、職人さんとの調整、工期管理などに取組んでいます。現場に詰めているので、公園利用者である地元のおばあさんと話すこともあります。立体的な公園で技術的なハードルが高く、職人さんの確保が大変です。インド人のCADオペレーターとも一緒に仕事をしています。

—やりがいはありますか？

土木に関する資料を読み込み、勉強しています。二度と同じ現場はなく、常に新しいことができる所以、やりがいを感じています。

—フリースクール生へのアドバイスがあれば、教えてください。

日本は縦長で色々な自然を楽しめるのであちこちを旅して自然を楽しんでください。

・ · · · · · · · · · ·

もの作りが好きで、生木から斧とナイフでスプーンなどを作る「グリーンウッドワーク」を趣味とする陳さんにとって、造園業はぴったりの仕事だと思いました。これからも仕事の幅を広げ、魅力的な公園を作ってほしいです。また持続可能な里山の実現に向けた「益子家」の活動も応援していきたいと思いました。



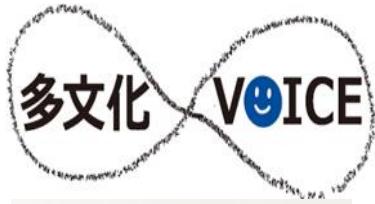
陳さんが彫った看板



クレーン車の左側が現場の公園



陳さんの作品



タイレストランを中心としたタイ関連事業「SUU・SUU・CHAIYOO（スースーチャイヨー）」を展開する川口洋さんにタイ料理の普及に込めた思いを語っていただきました。

私は、学生の時バックパッカーとして様々な国を訪問し、多くの出会いに感動して、外務省に入省しました。アラビア語専門家として中東勤務中、タイ大使館職員やタイ人コックなどと知り合い、タイに魅了され、思い切って外務省をやめ、2004年にタイ料理店を開業しました。

「我々はタイ料理とタイ文化の普及を通じ、社会に貢献します」をミッションにレストラン事業ではクルン・サイアム、オールドタイランド、タイ料理研究所、タイストリートフードの4ブランドで、首都圏17店舗でタイ料理を提供しています。熟練の調理人による本格的なタイ料理、気さくで心のこもったホスピタリティ、異国情緒と文化的な香り、ワクワクする空間作りにこだわってきました。本格的なタイ料理を家庭で楽しめる冷凍タイ料理などの食品事業も展開しています。さらに千葉県市原市で、市原ぞうの国の象の糞をベースに自社堆肥場にて製造した堆肥によるタイ野菜を栽培する農園事業も始めました。

正社員だけでもタイ人を80名採用し、行政サービスの利用など生活支援のサポートをしています。郷に入れば郷に従えではなく、タイの方々も日本人もそれぞれの文化を尊重しあって交流することが大切だと思っています。

過去や未来のことをよく考えず、今日一日を楽しんでいるタイ人の生きざまにも惹かれています。タイの料理の美味しさはもちろんのこと、ライフスタイルも含めて Happy Thailand を世界に届けることを目指しています。

スースーチャイヨー <https://www.sscy.co.jp/>



## 『中学生が多文化共生について本気で考えてみた』

山崎 寛己著 東洋館出版社刊 (2025/4) 2420円(税込)

私立中学校の教諭である著者が、子供達に多文化共生について考える場を提供していく軌跡。子供達は数人の当事者（外国にルーツを持つ人物）の話を聞く度に新たな視野を持ち、知らなかつた痛みを知っていく。

私は、朝鮮初中級学校の校長の「私たちの学校と交流することによって相手の中学校や生徒に対して批判や風評被害のようなものが及ばないか」の言葉にどれ程の被害を受けた結果の配慮なのかと想像してしまった。京都の大学の学長を務めたアフリカ出身者の「われわれが相手を見ると、実はその相手そのものを見ているのではなく、もともと持っている知識で相手を見てしまうことが多い」の言葉に過去の自分はどうだったか不安になった。自身に外国にルーツがあると知らなかつた中学校教員は、外国にルーツがある人はいつだって「ここにいていいんかな」「ここで生きていていいんかな」と悩みながら同時に、「一番知られたくないことが、誰かに一番知ってほしいこと」とも語り、そこに至る当事者の心の複雑さを痛感した。長年ヘイトに苦しめられている在日韓国人女性が語る、『「あのデモがくる」と考えるだけで私たちの尊厳が踏みにじられます』の言葉で実感する日本の惨状に絶望しそうになった。

与党議員がいう「日本には法律を作つてまで禁止するような深刻な差別はないから、法律はいらない。」が信じられない。皆さんにもこの本で、中学生たちの体験を共有してほしい。

【理事・ボランティア 松田尋之】



# 認定特定非営利活動法人 多文化共生センター東京

## ビジョン

私たちは、国籍、言語、文化の違いをお互いに尊重する多文化共生社会を目指しています。  
外国にルーツを持つ子どもたちの教育、とくに高校進学に力を注いでいます。

## 基本的人権の尊重

「ことば」「制度」「こころ」の壁に起因する社会的不公平によって、誰もが等しく持つ権利が損なわれる不公平を是正する

## 少数者への力づけ（エンパワメント）

自分の文化や言語を享受できる環境づくりや安心して自分を出せる居場所づくりにより、少数者自らが自分自身を支えていく

## 社会へのアプローチ

「日本人」・日本社会が少数者の置かれている状況を理解するとともに、多文化共生社会の意味や大切さ（大変さ・楽しさ）を理解し、多数者である「日本人も」変わり、少数者とともに生きていく

## ミッション

- ・外国にルーツを持つ子どもたちの教育機会の拡大に努めます。
- ・外国にルーツを持つ子どもたちが個性や能力を發揮し、日本で活躍できるような教育の実現に取り組みます。
- ・国籍、言語、文化の違いを認めてお互いを尊重する教育の実現に取り組みます。

## ご支援のお願い

○当センターの活動や、当センターで学ぶ子どもたちをサポートするためのご寄付をお願いいたします

### 一般寄付

多文化共生センター東京の活動全体へのご支援

- ▷ 都度寄付：1回限りの寄付をして活動を支援
- ▷ マンスリーサポーター：毎月定額を寄付して活動を支援（カード決済）

### たぶんか子ども基金

経済的な理由から「たぶんかフリースクール」の授業料を負担することが難しい家庭等、子どもたちの学びを継続するための支援

多文化共生センター東京は認定NPO法人です。ご寄付は、確定申告により寄付金控除を受けることができます。次のいずれかの口座へのお振込み、または、クレジットカードからお手続きをお願いいたします。

- ・郵便局から：00110-8-407588／多文化共生センター東京
  - ・銀行から：ゆうちょ銀行／019店／当座0407588／トクヒ）タブンカキヨウセイセンタートウキヨウ
- ※クレジットカードでのご寄付は、ウェブサイトからお申込みください。

○当センターの趣旨に賛同し、団体運営にかかわってくださる会員を募集しております。

- ・正会員 年会費5,000円（正会員には総会での議決権があります）
- ・賛助会員（個人） 年会費1口1,000円、3口以上
- ・賛助会員（団体） 年会費1口30,000円

○企業・団体の皆様へ

財政的なご支援や社員の皆様との交流・ボランティアのご参加をお願いします。

詳細は右記からウェブサイトをご参照ください。



## みんぐる Vol.82 2025年11月発行

編集：多文化共生センター東京事務局 発行：特定非営利活動法人多文化共生センター東京

※「みんぐる」は、英語“mingle” = 「(2つ以上のものが各要素で区別できる程度に) 混ざる・一緒にする・交流する」から名付けました。

### 【事務局・たぶんかフリースクール荒川校】

住所：〒116-0002 東京都荒川区荒川3-74-6  
(メゾン荒川Ⅱ201)

TEL/FAX：03-6807-7937

e-mail：info@tabunka.or.jp

Open：火曜日～金曜日…午前9時から午後6時  
土曜日 …午前10時から午後7時

ウェブサイト <https://tabunka.or.jp>



### 【たぶんかフリースクール杉並校】

住所：〒167-0021 東京都杉並区井草2-35-5  
(杉並育英 SITEC (サイテック) 内)

TEL：03-6915-0200

Open：火曜日～金曜日…午前9時から午後6時

フェイスブック、Xでも活動の様子を発信しています。  
ぜひご覧ください！